



— 自然免疫と健康維持 —

LSINは、特定非営利活動法人 環瀬戸内自然免疫ネットワーク(Nonprofit Organization Linking Setouchi Innate immune Network)の略であり、平成13年に設立された自然免疫賦活技術研究会を母体として、平成18年3月22日に設立されたNPO法人です。詳しくは <http://www.lsin.org> をご覧ください!!

— 第28回自然免疫賦活技術研究会開催される —



平成21年3月12日(木)、サンメッセ香川(香川県高松市)で第28回自然免疫賦活技術研究会が開催され、計57名(計34機関)が参加しました。今回の研究会では、産官学連携をより活発化させるために、相互理解を深めることを目的として、参加した全機関が、それぞれの機関概要を紹介し、コンセプトや活動内容、研究会への意見や要望等を発表しました。



また、最近のトピックス(「リポ多糖とマクロファージの最近の話題」)として、子どもを花粉症にしないための9か条や、マクロファージをターゲットにして活性化することで腎結石を溶解するという新治療法の可能性など、自然免疫を中心とした最新情報が稲川裕之氏(水産大学校)より紹介されました。

さらに、研究会終了後の交流会では、研究会での発表を踏まえ、機関間の活発な意見交換が行われました。



本号のニュース

- ・第28回自然免疫賦活技術研究会の開催
- ・連携協定書調印式
- ・LSIN平成20年度事業報告
- ・自然免疫賦活技術研究会 会員企業紹介

— 目次 —

- ・第28回自然免疫賦活技術研究会開催される 1
- ・連携協定書調印式 LSINと医療法人喜悦会 1
- ・LSIN 平成20年度事業報告 2
- ・LSINが内閣府認証NPO法人になりました 2
- ・自然免疫賦活技術研究会 会員企業紹介
第5回 株式会社 ル・シェール 3
- ・小麦発酵抽出物配合新製品の血糖値改善効果実証試験の実施 3
- ・ひげ博士のホットレポート—最新免疫学講座— 4
- ・LSIN会員募集 4
- ・編集後記 4

連携協定書調印式 LSINと医療法人喜悦会

LSIN(上田和男理事長)と医療法人喜悦会(井上史子理事長)は、平成21年4月24日に医療法人喜悦会那珂川病院(福岡市:下川敏弘院長)にて連携協定書の調印式を行いました。

平成19年10月以降、両者はホームページの相互リンクや那珂川病院内でのLSINのポスター掲示などの連携を行ってきました。平成20年11月にLSINと医療法人喜悦会との間で連携協定締結に向けての基本的合意がなされ、これを受けてこの度正式に調印されました。

団法人三宅医学研究所(高松市)に続く2つめの医療施設との正式な連携であり、これによりLSINが主体となっていく効果実証試験などを実施する上での基盤が整ってきたと考えられます。



今後両者は連携して事業を展開し、質の高い健康維持に資する技術・医療・製品・研究等の開発と実践を行って行きます。

LSINにとってこの度の連携協定締結は、平成20年7月の財

平成20年度事業報告

事業の成果

今年度は、財団法人三宅医学研究所(附属セントラルパーククリニック)と連携協定を結び、機能性食品等の有用性検証、食による予防医学の発展、自然免疫賦活技術の普及・促進を行うための体制作りを行い、この連携協定のもと、効果実証試験を実施しました。一方、機能性食品等の効能表示を求めて構造改革特区へ提案し、これらの活動を通して、健康維持戦略に関するアウトリーチ活動に貢献しました。

また、今年度は従たる事務所を香川県高松市に設置し、これに伴い所轄庁を徳島県より内閣府に変更する手続きを行いました。これにより、今後より広域に活動するための基盤体制が強化されました。

特定非営利活動に係る事業

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

平成20年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

定款の事業名	事業内容	実施内容
①自然免疫賦活技術研究会の実施・管理・運営事業	・自然免疫賦活技術研究会の実施	第25回研究会 5月23日 13:00-17:00
		第26回研究会 8月29日 13:00-17:15
		第27回研究会 11月27日 13:00-16:50
		第28回研究会 3月12日 13:00-17:00
②自然免疫賦活技術の調査・研究及び普及・啓蒙活動	効果実証試験受託事業(計1件)	10月~3月
	品質保証受託事業(計1件)	8月~9月
	本法人の活動内容を公開するホームページ更新	随時
	本法人の活動内容を公開するニュースレターの発行	5月、8月、11月、3月
③自然免疫賦活技術に係る産官学相互の技術移転支援事業	本法人の活動内容を紹介するパンフレット発行	随時
		今期は実施しなかった。

科目	金額(単位:円)	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費・入会金収入	1,040,000	
2 事業収入	2,753,004	
3 その他	727,885	
経常収入合計		4,520,889
II 経常支出の部		
1 事業費	3,307,331	
2 管理費	1,558,388	
3 旅費・交通費・謝金	160,110	
経常支出合計		5,025,829
経常収支差額		△504,940
III その他資金収入の部		
1 固定資産売却収入	0	
2 その他	0	
その他の資金収入合計		0
IV その他の資金支出の部		
1 固定資産取得支出	0	
2 その他	56,600	
3 予備費	0	
その他資金支出合計		56,600
当期収支差額		△561,540
前期繰越収支差額		2,211,754
次期繰越収支差額		1,650,214
(正味財産の部)		
V 正味財産増加の部		
1 資産増加額	△561,540	
2 負債減少額	0	
増加額合計		△561,540
VI 正味財産減少の部		
1 資産減少額	0	
2 負債増加額	0	
減少額合計		0
当期正味財産増加額		△561,540
前期繰越正味財産額		2,211,754
当期正味財産合計		1,650,214

LSINが内閣府認証NPO法人になりました

LSINの活動は皆さまのご支援のお陰で順調に拡大・充実を続けています。具体的には都市エリア事業(高松エリア)への参画、複数の臨床施設と連携協定の締結、効果実証試験の実施、自然免疫賦活研究会が産業クラスター計画に位置づけられるなど、活動範囲も広域化して参りました。

そこで、LSINの活動をより広域的に行うことが可能な組織体制の整備を進めております。その一環として、これまでの徳島県事務所に加え、第2番目の事務所を香川県へ設置しました。これに伴い、所轄庁が変更になり、

LSINは徳島県認証NPO法人から内閣府へ移管され、内閣府認証NPO法人(2009年3月12日付)の認可を取得しました。

今後も「健康維持は自然免疫の活性化から」をコンセプトとした活動を徳島から香川、そして四国内、環瀬戸内エリアと拡充していきます!

香川県の事務所は以下のとおりです
〒761-0301 香川県高松市林町2217-16
FROM香川 バイオ研究室
TEL : 087-887-3848 FAX : 087-887-3848

株式会社 ル・シェール



ル・シェールとは、フランス語で「私の大切な人」。ル・シェールは平成5年10月の創業以来、「大切な人を健康に」を基本理念として、一歩一歩着実に活動を続けて参りました。

家族、友人や知人、そして現在はまだ出逢っていないけれどやがて出逢う人たち—私たち一人ひとりの周囲には「大切な人」がたくさんいます。そして誰もが、自分にとって「大切な人」が健康であってほしい、と願っていることでしょう。弊社は、その願いを叶えるお手伝いをするための商品を開発・製造してお客様に提供。お客様は、ご自身でその良さを実感された商品を、その方にとって「大切な人」に自信を持ってお伝えしていただいております。

主力商品の健康食品部門では、平成20年6月に、小麦発酵抽出物を主成分とした健康食品「M&M」（ドリンクタイプ）を発売しました。発売から1年を経過したいま、「M&M」を愛用される方の輪は着実に広がっており、健康作用を体感された方からの喜びの声・感謝の声も弊社に多数届いております。

また、本年6月2日より「Pet M&M」（粉末タイプ）を発売。本商品は、犬・猫合わせて登録頭数1300万頭を



本社外観

超えて右肩上がりのペット市場を見据えて弊社がはじめて扱うペット用サプリメントで、「M&M」と同じく小麦発酵抽出物を主成分としています。

2つのM&Mがラインナップされたいま、弊社では「あなたとウチのコのための2つのM&M」をキャッチフレーズにより一層の拡売を図り、小麦発酵抽出物の有用性を広くアピールして参ります。

- 取扱い商品：健康食品、化粧品、ヘアケア商品、ホームケア商品
- 代表取締役社長：田中千恵子
- 所在地：東京本社
〒107-0062 東京都港区南青山5-10-2 第2九曜ビル 中部営業所（流通センター）
〒463-0023 愛知県名古屋市守山区今尻町1305 沖縄営業所
〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜2-8-10

小麦発酵抽出物配合新製品の血糖値改善効果実証試験の実施

LSINIは、新たに小麦発酵抽出物を配合した新製品（お茶）について、摂取による血糖値の改善効果を調査することを目的とした効果実証試験を実施しました。本調査により、新製品は血糖値改善効果を有しており、HbA1c およびLDL値改善効果に関しては、小麦発酵抽出物を含まない市販のお茶よりも高くなる可能性が認められました（下図参照）。

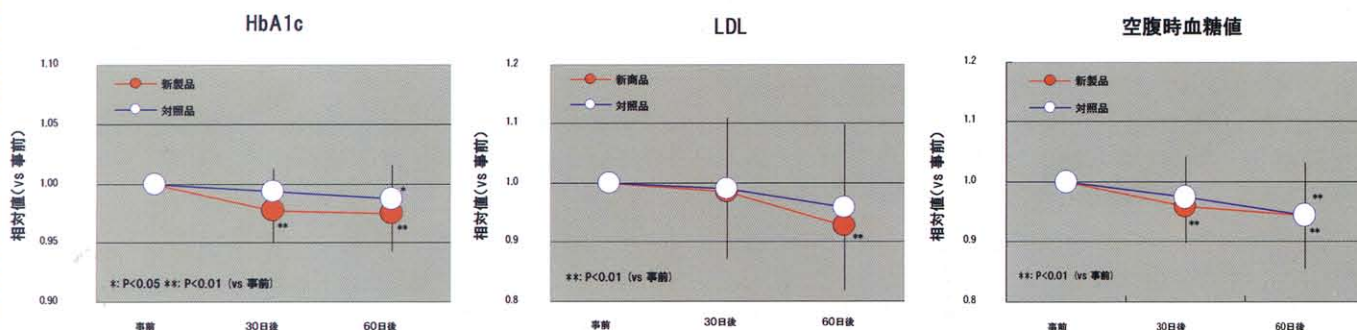
※本試験はLSINI内に設置した倫理委員会で承認を得たのち、疫学調査に関するガイドラインに基づいて連携医療機関：（財）三宅医学研究所附属セントラルパーククリニックで行ないました。

【試験対象製品】 市販のお茶に小麦発酵抽出物とビタミンプレミックスを添加した栄養機能食品

【試験対象者】 40歳以上70歳未満の男女。糖尿病マーカー（空腹時血糖100~125mg/dl, HbA1c5.2~6.0）または脂質マーカー（中性脂肪150mg/dl以上、HDLコレステロール40mg/dl未満、LDLコレステロール120mg/dl以上）のいずれかに該当する人。被験者数：計41名

【試験実施期間】 平成20年10月1日～平成21年3月31日（内60日間）

【試験方法】 新製品（お茶）または小麦発酵抽出物を含まないお茶（対照品）を1日2回自由に摂取し、摂取後30日と60日における血糖値・脂質マーカーの値、一般身体状況、慢性症状に関するアンケート調査を、ダブルブラインド法により実施。



さて、皆さんこんにちは。自然免疫で中心的な働きをするマクロファージは、体の中で動き回っており、バクテリアやウイルスなどのばい菌を食べてしまう、体を守る細胞というのはご存じですな。脳、皮膚、肺、肝臓、筋肉、腸、骨などからだのすべての場所にいる免疫細胞はマクロファージだけじゃ。

どうしてですか？ ほほ、いい質問じゃのう。それは、細胞は死んでいき、そして新しい細胞が生まれてくる訳じゃが、死んだ細胞はというと、体に不要なもの、すなわち異物になる。体から除かなければ、新しい細胞が生まれてこないんじゃ。そんな、死んだ細胞もせっせとマクロファージは食べておる。だから、細胞がいるところマクロファージありきなんじゃ。それだけではないぞよ。日々生まれるがん細胞もマクロファージが異物として食べておる。マクロファージにしっかり働いてもらって健康を維持できるんじゃ。



マクロファージ状態のひげ博士

LSIN会員募集

LSINでは会員を募集しています。LSINの活動に賛同していただける方であれば、どなたでも入会できます。

●入会金・年会費一覧

入会を希望される方は、以下の入会手続きをご参考ください。

(1)ホームページからの入会手続き

下記のURLにアクセスし、ホームページ内の「入会のご案内」→「入会申込フォーム」に必要事項を明記の上、お申込ください。

LSIN URL : <http://www.lsin.org>

(2)郵送またはFAXによる入会手続き

「入会申込書」をLSIN事務局まで郵送あるいはFAXでご請求下さい。

「入会申込書」に必要事項を明記の上、事務局まで郵送あるいはFAXにて送付ください。

「入会申込書」の下部に記載している振込先へ、入会金・年会費をお振込ください。

事務局から「入会手続き完了」の連絡をお送りします。

※「入会手続き完了」のご連絡は、事務局にて入会申込書と入金照合し、入会手続きが完了した時点でお送りします。

入会申込書の送付と入会金・年会費のお振込完了後、2週間を過ぎても連絡がない場合は、お手数ですが事務局までお問い合わせください。

入会金			年会費		
正会員	個人会員	10,000円	正会員	個人会員	10,000円
	企業会員	30,000円		企業会員	50,000円
賛助会員	個人会員	10,000円	賛助会員	個人会員	10,000円
	企業会員	30,000円		企業会員	50,000円
モニター会員	入会金なし		モニター会員	年会費なし	

〒761-0301 香川県高松市林町2217-16
FROM香川バイオ研究室

特定非営利活動法人 環瀬戸内自然免疫ネットワーク

TEL:088-652-6026 FAX:088-669-2967
(MOBILE:090-2783-5885)

E-mail: npolsinlsin@lsin.org URL: <http://www.lsin.org>

編集後記

LSIN会員の皆様、ニュースレターNo.7をお届けします。

さて、今号では、平成20年度事業報告を行いました。LSINは、順調に活動の範囲を広げており、皆様のご支援に感謝いたします。

また、LSINの掲げる「健康維持は自然免疫の活性化から」をコンセプトとした活動を広げるため、高松市にも事務所を開設しました。これに伴い平成21年3月12日にLSINは、内閣府認証NPO法人の認可を取得し

ました。これにより都道府県の境界を超えた活動や事務所開設が一層容易になります。

また前号でお約束した効果実証試験の結果を、簡単ですが紹介しました。小麦発酵抽出物の効果が、客観的なデータによって証明されたことになりました。

最後になりますが、お忙しい中、原稿をご執筆いただいた方々、編集委員の皆様にご心より厚くお礼申し上げます。

編集長 中本 尊

LSIN事務局

LSINニュースレター編集委員

編集長 中本 尊 編集員 稲川裕之 中本優子 谷口芳枝

平成21年6月25日発行